

『洪水・土砂災害ハザードマップ閲覧システム』



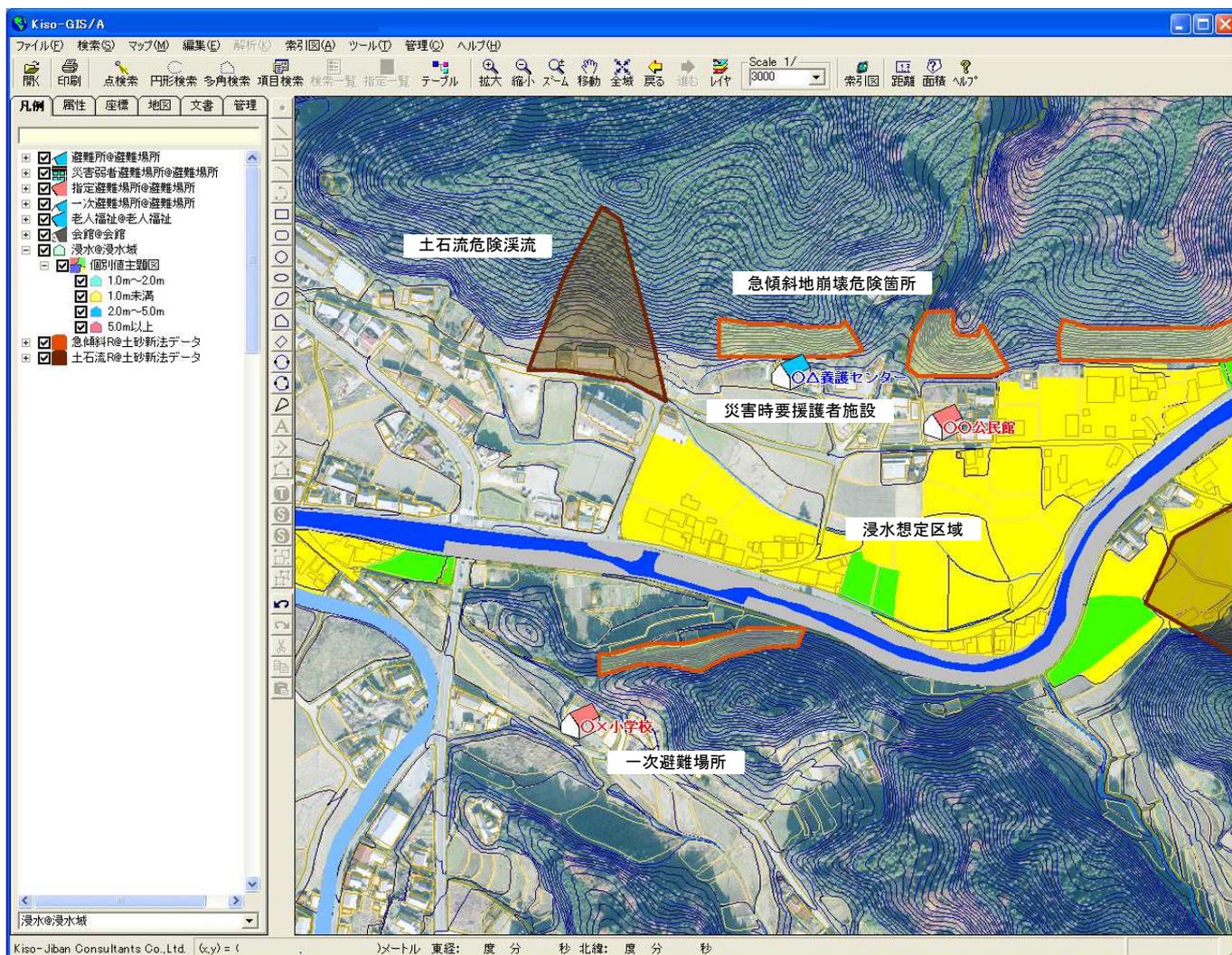
最近、各地で頻発する**記録的な豪雨**により、河川の氾濫や土砂崩壊が多発しています。

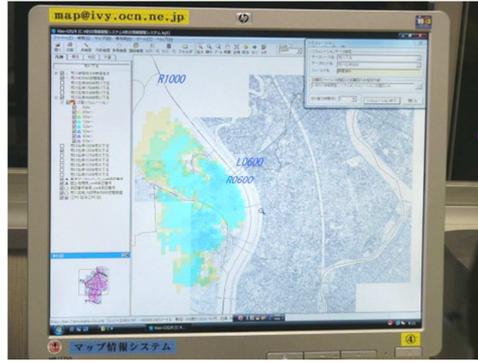
ハード整備が限界にある中、リスク回避には住民の**防災意識の高揚**が不可欠です。本システムは、管理者向けの危機管理と住民向けの**防災マップの閲覧**を目的にしています。

システムの特徴

- 地理情報システムの利用 : 高速な描画エンジンを搭載。地図スクロールにストレスを感じません
- 業務用と閲覧用の切替え : 非公開データと公開データの切替え可能。データベースは1つです
- 図上訓練用の防災マップ : 精緻な印刷をわかりやすい操作で実現。防災マップの出力に使えます
- 使いやすい操作性 : 操作ボタンの簡素化、平易な表示、検索画面の設計等、要望に応じます
- 情報の追加が直営で可能 : 地震、高潮、津波、2000年確率浸水想定等、防災データの追加が可能
- 安価に実現 : 標準システム（データ登録込み）を安価に構築

洪水・土砂ハザードマップの作成も承ります・・・





住民からの問い合わせに対し、付近の地図を拡大しながら説明できます

※洪水ハザードマップも弊社作成（平成 20 年 3 月）

「洪水ハザードマップ」から「洪水+土砂災害ハザードマップ」へ

- 河川のはん濫は高地部に避難するのが原則。しかし、山間部は土砂災害のリスクが高く、注意が必要です。
- 避難所・避難方向は災害によって異なります。あらゆる災害シーンを想定した防災体制の確立が必要です。
- 土砂災害警戒区域(1/2,500)の未設定の地域については、土砂災害危険箇所(1/25,000)にて補完します。
- 河川はん濫、土砂災害、地震災害の専門家が知恵を出し合う防災マップづくりを支援します。

